

平成27年度
年報

■ 目 次 ■

◆ 目的及び事業	2～3
◆ 平成 27 年度事業概要	
I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業	4
II 展覧会事業 (1) 展覧会開催事業	4
(2) 常設展の展示構成	5
III 教育普及事業	6
IV 北海道文学に関する調査研究事業	7
V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業	7
VI 啓発広報事業	8
VII 刊行物の刊行事業	8
VIII その他の付帯事業	8
◆ 統計・資料	
I 平成 27 年度 展覧会別観覧状況	9
II 平成 27 年度 事業別利用状況	9
III 平成 27 年度 資料収集状況	10
◆ 組織及び職員	
I 組織機構図	11
II 職 員	11
◆ その他	
I 文学館の歩み	12～13
II 諸会議・運営日誌	14～16
III 公益財団法人北海道文学館役員名簿	17

■ 目的及び事業 ■

●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務。

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあっては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

（休館日）

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）

(2) 12月29日から翌年の1月3日まで

（利用料金）

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

2 大学等（大学その他規則で定める学校をいう。以下同じ。）は、その学生が博物館に展示する資料（常設展示に限る。）を観覧する場合の利用料金として、年間利用料金を指定管理者に納めることができる。

3 前2項の規定により指定管理者に納められた利用料金及び年間利用料金（以下この条において「利用料金等」という。）は、指定管理者の収入とする。

4 利用料金の額は別表第1に定める額の範囲内、年間利用料金の額は別表第2に定める額の範囲内において、それぞれ指定管理者が知事の承認を受けて定める。これらを変更しようとするときも、同様とする。

別表（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	500円	1人に 330円 つき
2 1以外の者(学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。)	950円	1人に 770円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			70,900円
講堂	9,470円	11,830円	18,170円

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	1,410円	1人に 1,220円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	2,320円	1人に 1,720円 つき
3 1及び2以外の者(学齢に達しない者を除く。)	3,520円	1人に 2,730円 つき

■ 平成 27 年度事業概要 ■

I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	1,067 点
寄贈資料受入れ総数（同上）	5,362 点
	6,429 点
整理・保存	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等
閲覧	利用者 延 5,542 人

II 展覧会事業

(1) 展覧会開催事業

区分	事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
	常設展 北海道の文学	通年 (309 日間)	8,652	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を紹介。(◎展示構成を次頁に掲載。)
	特別展 没後 1 年・渡辺淳一の世界 —「白夜」の青春 リラ冷えを往く—	4/18(土) ～ 6/21(日) (56 日間)	3,995	北海道が生んだ日本を代表するベストセラー作家、渡辺淳一が亡くなって 1 年。思春期から作家を目指して上京するまでの彷徨の季節、人間とは何かを問いつつ、最前線の現場で懸命に医学と文学の可能性を求め格闘した「白夜」の青春の日々を軸に、話題作のヒロインなども紹介。
	特別展 挿絵の美・大衆文化の黄金時代 —大正イマジュリイの世界—	7/11(土) ～ 9/6(日) (50 日間)	3,788	大衆文化が栄え、書物や雑誌の出版が盛んに行われた大正時代。デモクラシーや生命主義の思想が唱えられ、西欧風のモダン文化が普及したこの時代は、近代国家への道を邁進する日本の短い青春時代とも呼ぶべき黄金時代だった。竹久夢二や落谷虹児、高島華宵らをはじめ、この時代を彩った挿絵文化の黄金時代を紹介。
	特別展 没後 50 年 文豪・谷崎潤一郎 —愛と美を求めて—	9/19(土) ～ 11/15(日) (51 日間)	2,876	文豪・谷崎潤一郎が亡くなって今年で 50 年。耽美主義に連なるデビュー作「刺青」から、関東大震災を機に関西に移住してとりくんだ「痴人の愛」「卍」、日本の伝統と美を発見した「春琴抄」「潤一郎訳源氏物語」「細雪」、老いとエロスの心理をみつめた晩年の「癡癡老人日記」まで、芸術に生涯を捧げた谷崎の愛と美の世界を、松子夫人あての書簡など新発見資料を交えて紹介。
	ファミリー文学館 ネコ！ねこ！猫！！	11/28(土) ～ 1/17(日) (38 日間)	2,756	文学作品の中にも、古くから猫の姿があちらこちらに、あるときはどうどうと、あるときはひっそりと描かれている。そんな猫たちを小説・詩・短歌・俳句作品や絵本を通して紹介。
	特別展 「さとぼろ」発見 大正 昭和・札幌 芸術雑誌にかけた夢	1/30(土) ～ 3/27(日) (50 日間)	1,470	「さとぼろ」は 1925 年、札幌で創刊された詩と版画の雑誌。外山卯三郎ら北海道帝国大学予科生を中心とした札幌詩学協会が発行し、道外の前衛芸術運動からの刺激のもとダダイズムなど西欧新思想を反映したものだ。文学、美術の他、演劇や音楽などを含め、大正末期から昭和初期の札幌の文化シーンに衝撃を与えました。この芸術運動のうねりを当館所蔵の資料により紹介。

【文学館アーカイブ（新着資料）コーナー】

- ・第 1 期展示 [4 月 14 日(火)～6 月 28 日(日)]

〈北海道文学〉のヒロインたち

原田康子「挽歌」の「怜子」、三浦綾子「氷点」の「陽子」ほか〈北海道文学〉に登場する魅力的なヒロインを紹介。

- ・第 2 期展示 [7 月 11 日(土)～9 月 6 日(日)]

北海道文学のイマジュリイ

北海道作家の本の装幀・挿絵に注目し、本文とイメージの相乗による魅力を紹介。

- ・第3期展示〔9月19日(土)～11月15日(日)〕

文学と美術の邂逅—白樺派とアララギ

文芸誌「白樺」と「アララギ」を中心に、文学と美術が交差した大正期の様相を紹介。

- ・第4期展示〔2月9日(火)～3月27日(日)〕

江原光太と砂澤ビッキー北の詩的精神

詩人江原光太と彫刻家砂澤ビッキーの交友と関連作品を紹介。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎「札幌農学校」 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海道文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『仲予』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河野文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井廣治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、斎藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島藤六、高浜虚子、長谷川零餘子、白田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 斎藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 比良暮雪、佐々木丁冬、鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和初期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担事業。※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期（日数）	目標観覧（参加）者数（人）	観覧（参加）者実績数（人）	観覧（参加）率（%）	備考
講演会・セミナー・講話等	オープニングセレモニー	4/18(土)		60		「渡辺淳一展」関連事業
〃	文芸トーク「編集者が語る素顔の渡辺淳一さん」 講師：文藝春秋・幻冬舎・集英社の編集者	4/18(土)	60	82	136.7%	〃
〃	文芸講演会「渡辺淳一の恋愛小説の魅力と北海道」 講師：谷村志穂（作家）	4/26(日)	80	90	112.5%	〃
〃	ひとひら忌 ①献花、②朗読	4/30(木)		203		〃
〃	短編映画メイキング上映会	5/16(土)		83		〃
〃	文芸講演会「渡辺文学のヒロインたち」 講師：郷原 宏（詩人、文芸評論家）	5/24(日)	60	42		〃
〃	ギャラリーツアー 講師：当館学芸員	7/25(土)、8/23(日)		9		「挿絵の美展」関連事業
〃	朗読会「挿絵と朗読で楽しむ[怪奇美のイマジュリ]」 出演：宮下郁子	7/26(日)		40		〃
〃	文芸講演会「挿絵の美・大衆文化の黄金時代」 講師：山田俊幸（帝塚山大学教授）	8/2(日)	80	56	70.0%	〃
〃	朗読会「谷崎潤一郎を読む―『細雪』抄」 出演：松井信子	9/19(土)	60	105	175.0%	「谷崎潤一郎展」関連事業
〃	文芸トーク「谷崎潤一郎の文学を語る」 講師：辻原登（作家）、池澤夏樹（当館館長）	10/10(土)	80	103	128.8%	〃
〃	「猫」川柳句会 講師：岡崎 守（北海道川柳連盟会長）	11/29(日)	80	30	37.5%	ファミリー文学館関連事業
〃	朗読会「猫と親しむ」 出演：ボランティアグループ	12/2(水)、12/16(水)、1/13(水)	60	179	298.3%	〃
〃	読み聞かせランド「ネコとあそぼう！」 出演：トムテ	12/5(土)		42		〃
〃	大人のためのワークショップ「猫・豆本をつくらう！」 講師：関口敦子	1/15(金)		20		〃
〃	ギャラリーツアー「『さとぼろ』発見展を楽しむ」 講師：当館学芸員他	1/31(日)、2/14(日) 3/13(日)、3/27(日)	80	26	32.5%	「『さとぼろ』発見展」関連事業
〃	ワークショップ「リノカットでつくる私の蔵書票」 講師：関川敦子	2/14(日)		10		〃
〃	朗読と音楽のつどい「『さとぼろ』を懐かしい響きとともに」 出演：ロケット姉妹	2/28(日)		43		〃
〃	朗読会「朗読で味わう『さとぼろ』と旧き札幌」 出演：朗読を楽しむ会、みゆき語りの会	3/3(木)、3/17(木)	60	82	136.7%	〃
〃	ワークショップ「ポップアップ工作―電車のある札幌風景」 講師：松本 浦	3/13(日)		9		〃
夏休み文学道場	「中・高生のための創作講座」	7/29(水)～7/31(金)	20	21	105.0%	〃
小・中・高生短歌コンテスト	小・中・高生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、当館ロビーに作品展示	11/28(土)～1/17(日)	3,000	4,227	140.9%	〃
〃	小・中・高生短歌コンテスト表彰式	11/28(土)		53		〃
ファミリー文学館	ワークショップ「ゆらゆらネコ」	11/28(土)～1/17(日)	2,000	344	17.2%	〃
映画鑑賞会	「遠き落日」	5/6(水)	80	83	103.8%	〃
映画鑑賞会	「細雪」	9/27(日)	80	80	100.0%	〃
映画鑑賞会	「鍵」	11/8(日)	80	95	118.8%	〃
市町村連携事業「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	21市町村 24会場	1,200	1,566	130.5%	〃
市町村連携事業「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催した。	1市町村 1会場	500	1,412	282.4%	〃
文字・活字文化の振興事業	「谷崎源氏を描いた画家たち」 講師：奥岡茂雄（前札幌芸術の森美術館館長）	10/31(土)	60	80	133.3%	〃
古典の日記念朗読会	朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵	11/6(金)	60	191	318.3%	〃
月例朗読会	朗読：朗読表現「ゆうの会」ほか4団体	年10回	600	628	104.7%	〃
わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	15回開催	700	633	90.4%	〃
ロビーコンサート	「バレエとギターデュオコンサート」 「クラシック音楽の夕べ」	11/3(火) 11/5(木)	120	103	85.8%	〃
文化施設連携事業	「カルチャーナイト2015」 展示室の夜間開館等を実施	7/17(金)	200	287	143.5%	〃
小計			9,400	11,117		
文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(309日間)		5,542		
文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(309日間)		2,556		
負担金事業計			9,400	19,215	204.4%	
※ 講演会・セミナー・講話等	池澤館長連続講演会(6回)、荒川洋治講演会、特別講演会	4月～3月		643		
※ 文学館カレッジ	・文学案内人、谷崎潤一郎、韓国現代文学、生涯読書会、川柳教室、絵本学、源氏物語の7講座	5月～3月	640	603	94.2%	
※ 協働事業	高校教育研究会石狩支部研修会	7/14(火)		18		
※ 文学館まつり	ギャラリー文学館、文芸講演会、子ども広場、秋のミニ色紙づくりなど	9/23(水)	300	319	106.3%	
※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	500	906	181.2%	
※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(309日間)	100	162	162.0%	
自主企画事業計			1,540	2,651	172.1%	
教育普及事業参加者 計			10,940	21,866	199.9%	

IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 特別展「没後1年・渡辺淳一の世界」関連資料調査
- ② 特別展「挿絵の美・大衆文化の黄金時代」関連資料調査
- ③ 特別展「没後50年 文豪・谷崎潤一郎」関連資料調査
- ④ ファミリー文館「ネコ!ねこ!猫!!」関連資料調査
- ⑤ 特別展「「さとぼろ」発見」関連資料調査
- ⑥ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑦ 次年度の特別展「佐藤泰志の場所」関連資料調査
- ⑧ 次年度の特別展「ミッフィーのたのしいお花畑」関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「2016年の宮沢賢治—科学と祈りのこころ」関連資料調査
- ⑩ 次年度のファミリー文学館関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「手仕事の日本と民藝思想」関連資料調査

V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援並びに共催により支援した。

- ① 岩永善信ギターコンサート実行委員会
岩永善信ギターコンサート
(平成27年4月25日 北海道立文学館地階ロビー)
- ② しの笛北奏会
山口千壽笛演奏会
(平成27年5月23日 北海道立文学館地階ロビー)
- ③ 中川町教育委員会
斎藤茂吉記念第22回中川町短歌フェスティバル
(平成27年6月1日～10月31日 中川町)
- ④ 新緑のバロック実行委員会
新緑のバロック
(平成27年6月5日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑤ 井上仁一郎ギターコンサート実行委員会
井上仁一郎ギターコンサート
(平成27年7月2日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑥ こころのコンサート実行委員会
こころのコンサート
(平成27年7月3日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑦ 宮下祥子ギター教室
猪居謙&亜美ギター・ジョイントリサイタル
(平成27年7月4日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑧ 國松竜次ギターコンサート実行委員会
國松竜次ギターコンサート
(平成27年8月8日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑨ 鉄道員へのオマージュ実行委員会
吉田峯男出前コンサート ギターひき語りのための「鉄道員へのオマージュ」
(平成27年9月5日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑩ ムジカ・アンティカ・サッポロ
古楽への誘い VOL.6
(平成27年9月27日 北海道立文学館地下ロビー)

- ⑪ 「北海道ゆかりの文学を読む」朗読会
第17回北海道ゆかりの文学を読む朗読会
(平成27年10月18日 北海道立文学館講堂)
- ⑫ 若狭弘樹ギターコンサート実行委員会
若狭弘樹クラシックギターコンサート
(平成27年10月22日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑬ ロメウス弦楽四重奏団
ロメウス弦楽四重奏団第1回演奏会
(平成27年10月23日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑭ 北海道詩人協会
北の詩祭
(平成27年11月1日 北海道立文学館講堂)
- ⑮ 札幌アマデウス室内合奏団
札幌アマデウス室内合奏団演奏会
(平成27年11月14日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑯ 特定非営利活動法人 絵本・児童文学研究センター
絵本・児童文学研究センター 第20回記念文化セミナー「人類の行方」
(平成27年11月15日 小樽市民会館)
- ⑰ 日本弦楽器制作者協会ギター部門有志
FIESTA ギター銘器の工芸美と名曲のしらべ
(平成27年11月22日～23日 北海道立文学館講堂及び地下ロビー)
- ⑱ 松井信子朗読ステージ
松井信子朗読ステージ＝小林多喜二の命日によせて
(平成28年2月21日 北海道立文学館講堂)

VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、JR札幌駅、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催をPRするため、TV及び新聞紙上で有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第101号(6月1日付)、第102号(8月25日付)、第103号(10月29日付)、第104号(3月3日付)を発行した。

VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「没後1年・渡辺淳一の世界」図録の刊行
- ② 特別展「没後50年 文豪・谷崎潤一郎」図録の刊行
- ③ 特別展「「さとぼろ」発見」図録の刊行
- ④ 「平成26年度年報」の刊行

VIII その他の付帯事業

- ① 博物館実習生の受入
博物館実習生 ー14名(受入期間 7月～2月。実習期間 2週間)

■ 統計・資料 ■

I 平成 27 年度 展覧会別観覧状況

単位：名

区 分	常設展	特 別 展					計
		北海道の文学	渡辺淳一展	挿絵の美展	谷崎潤一郎展	ファミリー文学館 「さとぼろ」 発見展	
開催日数	309	56	50	51	38	50	
有 人	一 般	664	867	1,824	1,510	212	5,077
	高大生	72	15	111	69	13	280
	小中生			27	2		29
	小 計	736	882	1,962	1,581	0	5,386
料 団 体	一 般	685	264	684	334	128	2,095
	高大生	90	13	127	38	31	299
	小中生						0
	小 計	775	277	811	372	0	2,394
免除・招待	7,141	2,836	1,015	923	2,756	1,086	15,757
観覧者総数	8,652	3,995	3,788	2,876	2,756	1,470	23,537

II 平成 27 年度 事業別利用状況

単位：名

区分		月別												計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
展覧会事業	常設展	743	952	936	828	722	770	886	757	455	450	545	608	8,652
	渡辺淳一展	1,113	1,739	1,143										3,995
	挿絵の美展				1,008	2,105	675							3,788
	谷崎潤一郎展						629	1,352	895					2,876
	ファミリー文学館								203	1,385	1,168			2,756
	「さとぼろ」発見展										70	670	730	1,470
	貸館「川瀬裕之・支倉隆子2人展」			244	194									438
	小 計	1,856	2,691	2,323	2,030	2,827	2,074	2,238	1,855	1,840	1,688	1,215	1,338	23,975
	講演会・セミナー・講話等	435	125		43	62	105	103	30	129	122	63	97	1,314
	文学道場				21									21
	小中校生短歌コンテスト						4,227		53					4,280
	ファミリー文学館								22	176	146			344
	映画鑑賞会（4回）		83				80		95					258
地域連携事業 「文学館出前講座」		55	161	267	219	286	216	245			37	80	1,566	
地域連携事業 「ミニ巡回展」										1,412			1,412	
文字活字文化振興事業 朗読会（古典の日）									191				191	
月例朗読会		55	69	61	60	62	27	86	88		59	61	628	
わくわくこどもランド		128	22	42	98	40	31	62	78	22	39	71	633	
ロビーコンサート									103				103	
カルチャーナイト 2015				287									287	
愛好団体の文学活動	12	249	132	100	79	309	598	360	95	105	311	206	2,556	
資料閲覧・共同研究	464	554	464	504	444	502	498	502	367	402	396	445	5,542	
小 計	911	1,249	848	1,325	962	5,611	1,553	1,749	933	2,209	905	960	19,215	
負担金事業計	2,767	3,940	3,171	3,355	3,789	7,685	3,791	3,604	2,773	3,897	2,120	2,298	43,190	
財団自主事業	講演会・セミナー・講話等		80	96	50	130				65	75	83	64	643
	朗読会													0
	文学館カレッジ		46	69	69	62	64	69	63	28	51	51	31	603
	協働事業				18									18
	文学館まつり（9/23）						319							319
	文学館探検クイズ	37	10	23	15	12	4	11	36	7	7	0	0	162
	公演（コンサート、朗読会）	63	60	81	173	31	138	129	231					906
	財団自主事業計	100	196	269	325	235	525	209	395	35	133	134	95	2,651
	ボランティア活動状況	0	11	3	17	13	23	21	6	18	3	22	6	143
	その他（喫茶コーナー）	209	273	207	226	298	274	288	285	125	121	153	124	2,583
合 計	3,076	4,420	3,650	3,923	4,335	8,507	4,309	4,290	2,951	4,154	2,429	2,523	48,567	

Ⅲ 平成 27 年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

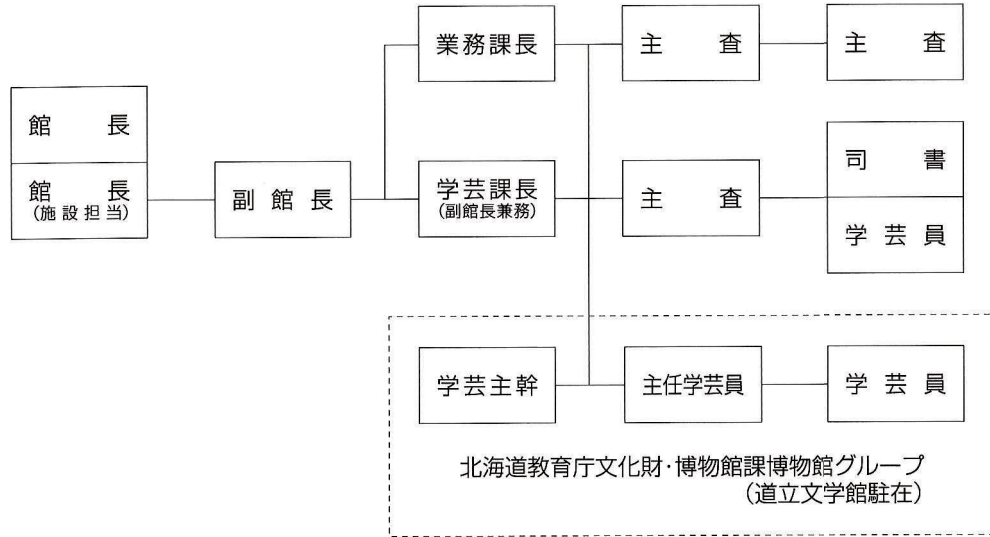
区 分	購 入	寄 贈	合 計
図 書 資 料	618	2,185	2,803
雑 誌 資 料	447	3,119	3,566
視 聴 覚 ・ 電 磁 資 料	0	4	4
特 別 資 料	2	54	56
計	1,067	5,362	6,429

<主な収集特別資料一覧>

木田金次郎自筆原稿「鯨場所への回想（一）」(400字詰11枚)	1点	購入
上司小剣自筆原稿「岡田君の奮戦・党派の力」(400字詰6枚)	1点	購入
渡辺淳一自筆原稿「愛ふたたび 第48回」(400字詰3枚)	1点	受贈
神谷忠孝宛高橋新吉書簡	1点	受贈
月岡道晴自筆色紙「暑寒別岳に没る陽に…」	1点	受贈
坂本亮旧蔵資料	38点	受贈

■ 組織及び職員 ■

I 組織機構図



II 職員

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

職名	氏名	職名	氏名		
館長	池澤夏樹	学芸課 司書	三井沙紀		
館長 (財団副理事長)	酒向憲司	学芸課 学芸員	吉成香織		
副館長 (財団専務理事)	谷口孝男	北海道教育庁文化財・博物館課 博物館グループ (道立文学館駐在)			
業務課長 (財団常務理事)	武田和弘				
業務課 主査	(欠員)				
業務課 主査	佐々木孝夫			学芸主幹	平利弘
学芸課 主査	丹伊田範子			主任学芸員	苔名直子
		学芸員	浅川泰		

■ その他 ■

I 文学館の歩み

年次	事項	年次	事項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展		20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「水原帯」創刊40周年記念展
43	文学に見る北方風物展	63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文学賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪——森鷗外展、財団法人北海道文学館設立
44	北海道旅の文学展		平成元 胆振文学展・目で見える風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展（札幌、旭川）
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展	2	児童文学「新十津川物語」展（札幌、新十津川）、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミントラ」展、歌誌「新壱」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる——渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展——道東・道北編
46	北海道詩歌展	3	市町村文芸誌展——道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60年記念斎藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
47	目で見える札幌文学散歩	4	設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記（室蘭）、北の文学風物誌展（冬の巻）、らいらっく文学賞展
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展	5	俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展
49	文学にみる札幌風物展、北海道女流文学展、小田観螢・人と作品展	6	文学・北の歳時記展、文学展・札幌線沿線の旅、北の山と文学展、和田謹吾理事長死去
50	札幌の作家展（戦前の巻）、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展（戦後の巻）、川柳に見る戦後の札幌展	7	澤田誠一理事長就任 北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち
51	碑にみる北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展	8	特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展	9	特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展	10	特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂とその時代
54	札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行	11	特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展——石森延男・その周辺——		
56	雑誌「北方文芸」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展		
57	島木健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展		
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展——その絵と文学——		
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		
60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学にみる北方風物展、更科源蔵初代理事長死去、『北海道文学大事典』発行、地域文化功労者賞受賞		
61	日本の文学館風景展、和田謹吾理事長就任、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌「核」30周年記念展		
62	『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館		

年次	事項	年次	事項
12	特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙、特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち、企画展・花咲く北の川柳展		
13	特別企画展・夢の世界のおくりもの〜アンデルセン童話・絵本原画展〜、特別企画展・100年目の小熊秀雄〜20世紀詩のアヴァンギャルド〜、企画展・映画ポスターに見る北海道の文学		— 60〜70年代の北海道、特別企画展・没後10年…三浦綾子／いのちへの愛、企画展・語り、継ぐ。— アイヌ口承文芸の世界、企画展・サハリンを読む— 遙か [樺太]の記憶、企画展・藤倉英幸と旅のイメージ
14	神谷忠孝理事長就任、特別企画展・寺山修司展〜テラヤマ・ワールド— きらめく闇の宇宙〜、特別企画展・大自然に抱擁されて〜知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ〜、企画展・中沢茂“ひとりの賑やかさ”〜根室と霧と芸術家たち〜	22	常設展プレミアム・日本人の遺書、常設展プレミアム・《川柳王国》北海道の軌跡、特別展・蘭繁之の手仕事〜“美”にこだわった津軽の奇才、特別展・北斎漫画展〜伝承版木が伝える江戸の出版文化、ファミリー文学館・開いてびっくり！しかけ絵本展、特別展・吉村昭と北海道〜歴史を旅する作家のまなざし
15	特別企画展・生誕100年記念 林芙美子展 特別企画展・函館—青森海峡浪漫〜(北の20世紀)を紡いだ作家たち〜、企画展・詩人百田宗治の戦後〜北海道に残したもの〜	23	特別展・追悼・後藤竜二展〜子どもたちへの応援歌〜高田三郎・小泉み子兄妹展、特別展・日は過ぎ去って僕のみは〜福永武彦、魂の旅〜、ファミリー文学館・絵本の原画を運ぼう！〜現代版北前船の旅 あべ弘士「かちかち山」、特別展・赤色エレジーから小梅の初恋〜林静一展、常設展プレミアム・森田たまの交友録— 書簡にみる文学者たちの筆跡、特別展・李恢成の文学
16	特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀 特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語、企画展・アイヌ語地名を歩く— 山田秀三の地名研究から—、企画展・仙花紙からの出発〜雑誌に見る「戦後」の姿、企画展・北の風土の批評精神 発生と展開〜風景景次郎から小笠原克へ〜	24	常設展プレミアム・書物の美〜明治・大正期の詩集〜、特別展・いせひでこ・絵本の世界—私の木、心の木、ファミリー文学館 幻想文学館 文豪たちのこわ〜い話、特別展・新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界、特別展・戦後北海道の演劇、特別展・高橋揆一郎の文学
17	企画展・現代少年少女詩・童謡詩展、特別企画展・神沢利子の世界〜北を想う・北を描く〜、特別企画展・原田康子の北海道〜小説「挽歌」から50年〜、企画展・サハリン追跡〜残留朝鮮人の軌跡、ファミリー文学館・春を待つ子どもたち〜いわさきちひろ複製画展〜	25	常設展プレミアム・木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド、特別展・紙芝居の今昔、ファミリー文学館 絵本・カムイの物語、特別展・挿絵が僕らにくれたもの—ジブリが読み解く“通俗文化の源流”—、特別展・ほっかいどうの短歌100首、特別展・荒巻義雄の世界— 都市型宇宙船 ニュー・ユートピア・シティにむかって
18	特別企画展・石川啄木〜貧苦と挫折を超えて〜、特別企画展・池澤夏樹のトボス〜旅する作家と世界の出会い〜、企画展・人生を奏でる二組のデュオ〜有島武郎と木田金次郎・里見淳と中戸川吉二〜、企画展・写・文交響〜写真家・綿引幸造の世界から〜、企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展、企画展・書房の余滴〜中山周三旧蔵資料から〜	26	「氷点」50年 三浦綾子フォトメモリアル— 後山一朗が撮り続けた約束の刻、特別展・FROM HAND TO HAND 手から手へ展、特別展・ムーミンの世界展〜ヤンソンさんからの贈り物〜、ファミリー文学館 “うま”とあそぼう!!、特別展・小檜山博の文学— 野性よ退化する現代を撃て—
19	特別企画展・太宰治の青春〜津島修治であったころ〜、特別企画展・目で識る川柳250年展・併設：北海道川柳の流れ、企画展・父・船山馨のDNA〜船山滋生の彫刻と挿画〜、企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見！100年前の児童雑誌、企画展・探求者の魂〜山田昭夫の書齋から〜	27	特別展・没後1年・渡辺淳一の世界—『白夜』の青春 リラ冷えを往く、特別展・挿絵の美・大衆文化の黄金時代— 大正イマジユリィの世界—、特別展・没後50年文豪・谷崎潤一郎— 愛と美を求めて、ファミリー文学館 ネコ！ねこ！猫!!、特別展・「さとぼろ」発見 大正 昭和・札幌芸術雑誌にかけた夢
20	特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展、企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景、企画展・鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界、企画展・文学の鬼を志望す—八木義徳		
21	常設展プレミアム・特集「フロンティア」		

II 諸会議・運営日誌

平成 27 年

- 4 月 18 日 (土) 特別展「没後 1 年・渡辺淳一の世界 ―『白夜』の青春 リラ冷えを往く」オープン(～6 月 21 日)
- 4 月 18 日 (土) 文芸トーク「編集者が語る素顔の渡辺淳一さん」(講師：文藝春秋・幻冬舎・集英社の編集者)
- 4 月 25 日 (土) 公演「岩永善信ギターコンサート」
- 4 月 26 日 (日) 文芸講演会「渡辺淳一の恋愛小説の魅力と北海道」(講師：谷村志穂)
- 4 月 30 日 (木) ひとひら忌(献花、朗読)
- 5 月 5 日 (火) わくわくこどもランド(こどもの日手作りコーナー「こいのぼりをつくろう！」)
- 5 月 5 日 (火) わくわくこどもランド(こどもの日スペシャル「人形劇・腹話術」)
- 5 月 6 日 (水) 映画上映会「遠き落日」
- 5 月 11 日 (月) 文学館出前講座(南富良野町、講師：内田 弘)
- 5 月 14 日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 5 月 16 日 (土) 短編映画メイキング上映会
- 5 月 16 日 (土) 文学館カレッジ(生涯読書会～川端康成「山の音」、チャーホフ「かもめ」に挑戦、講師：工藤正廣)
- 5 月 22 日 (金) 池澤夏樹連続講演会(第 4 回)
- 5 月 23 日 (土) 文学館カレッジ(愉快に川柳教室Ⅳ、講師：岡崎 守)
- 5 月 23 日 (土) 公演「山口千尋篠笛演奏会」
- 5 月 24 日 (日) 文芸講演会「渡辺文学のヒロインたち」(講師：郷原 宏)
- 5 月 28 日 (木) 文学館カレッジ(絵本学入門～初めて学ぶ絵本学の世界、講師：柴村紀代、杉浦篤子、藤田春義)
- 6 月 3 日 (水) 文学館出前講座(池田町、講師：前川公美夫)
- 6 月 3 日 (水) 文学館カレッジ(谷崎潤一郎・愛のかたちを読む、講師：中澤千磨夫)
- 6 月 4 日 (木) 文学館カレッジ(源氏物語への道しるべ ― 第一部の世界、本宮洋幸)
- 6 月 5 日 (金) 第 1 回理事会(財団)
- 6 月 5 日 (金) 公演「新緑のバロック」
- 6 月 6 日 (土) わくわくこどもランド(人形劇など)
- 6 月 11 日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 6 月 12 日 (金) 文学館カレッジ(秘蔵資料でたどる北海道の文学、講師：澤田展人)
- 6 月 14 日 (日) 文学館出前講座(余市町、講師：源 鬼彦)
- 6 月 19 日 (金) 池澤夏樹連続講演会(第 5 回)
- 6 月 20 日 (土) 文学館カレッジ(韓国の現代文学案内、講師：梶谷 崇)
- 6 月 20 日 (土) 文学館カレッジ(生涯読書会～川端康成「山の音」、チャーホフ「かもめ」に挑戦、講師：工藤正廣)
- 6 月 25 日 (木) 文学館カレッジ(絵本学入門～初めて学ぶ絵本学の世界、講師：柴村紀代、杉浦篤子、藤田春義)
- 6 月 26 日 (金) 定時評議員会(財団)
- 6 月 26 日 (金) 臨時理事会(財団)
- 6 月 26 日 (金) 貸館「川瀬裕之・支倉隆子 2 人展」(～7 月 5 日)
- 6 月 27 日 (土) 文学館カレッジ(愉快に川柳教室Ⅳ、講師：岡崎 守)
- 7 月 1 日 (水) 文学館カレッジ(谷崎潤一郎・愛のかたちを読む、講師：中澤千磨夫)
- 7 月 2 日 (木) 文学館カレッジ(源氏物語への道しるべ ― 第一部の世界、本宮洋幸)
- 7 月 2 日 (木) 公演「井上仁一郎ギターコンサート」
- 7 月 3 日 (金) 公演「こころのコンサート」
- 7 月 4 日 (土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせなど)
- 7 月 4 日 (土) 公演「猪居謙&亜美ギター・ジョイントリサイタル」
- 7 月 9 日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 7 月 9 日 (木) 文学館出前講座(南富良野町、講師：新明英仁)
- 7 月 10 日 (金) 文学館カレッジ(秘蔵資料でたどる北海道の文学、講師：澤田展人)
- 7 月 11 日 (土) 特別展「挿絵の美・大衆文化の黄金時代 ― 大正イマジュリィの世界 ―」オープン(～9 月 6 日)
- 7 月 15 日 (水) 文学館出前講座(札幌市、講師：田中 綾)
- 7 月 17 日 (金) カルチャーナイト 2015(常設展・特別展夜間開館、古書バザール、公開歌会・句会、ミニ色紙づくりなど)
- 7 月 18 日 (土) 文学館カレッジ(韓国の現代文学案内、講師：梶谷 崇)
- 7 月 18 日 (土) 文学館カレッジ(生涯読書会～川端康成「山の音」、チャーホフ「かもめ」に挑戦、講師：工藤正廣)
- 7 月 18 日 (土) 文学館出前講座(白老町、講師：村井裕子、あらひろこ)
- 7 月 20 日 (月) 文学館出前講座(室蘭市、講師：田口耕平)
- 7 月 23 日 (木) 文学館カレッジ(絵本学入門～初めて学ぶ絵本学の世界、講師：柴村紀代、杉浦篤子、藤田春義)
- 7 月 23 日 (木) 文学館出前講座(旭川市、講師：岸田典大)
- 7 月 25 日 (土) 文学館カレッジ(愉快に川柳教室Ⅳ、講師：岡崎 守)
- 7 月 25 日 (土) ギャラリーツアー
- 7 月 26 日 (日) 朗読会「挿絵と朗読で楽しむ [怪奇美のイマジュリィ]」(出演：宮下郁子)
- 7 月 29 日 (水) 夏休み文学道場「中・高生のための創作講座」、講師：小路幸也(～31 日)
- 7 月 31 日 (金) 荒川洋治講演会

- 8月1日(土) わくわくこどもランド(親子で楽しむコンサート)
- 8月2日(日) 文芸講演会「挿絵の美・大衆文化の黄金時代」(講師:山田俊幸)
- 8月4日(火) わくわくこどもランド(手作り教室「紙芝居をつくろう!」)
- 8月5日(水) わくわくこどもランド(手作り教室「紙芝居をつくろう!」)
- 8月6日(木) 文学館カレッジ(源氏物語への道しるべ—第一部の世界、本宮洋幸)
- 8月7日(金) 文学館カレッジ(秘蔵資料でたどる北海道の文学、講師:平原一良)
- 8月7日(金) 文学館出前講座(利尻富士町、講師:当館職員)
- 8月8日(土) 公演「國松竜次ギターコンサート」
- 8月9日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「サマーブックをつくろう!」)
- 8月13日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 8月21日(金) 文学館出前講座(札幌市、講師:岸田典大)
- 8月22日(土) 池澤夏樹連続講演会(第6回)
- 8月23日(日) ギャラリーツアー
- 8月27日(木) 文学館カレッジ(絵本学入門～初めて学ぶ絵本学の世界、講師:柴村紀代、杉浦篤子、藤田春義)
- 8月29日(土) 文学館カレッジ(愉快に川柳教室Ⅳ、講師:岡崎 守)
- 8月29日(土) 文学館カレッジ(韓国の現代文学案内、講師:梶谷 崇)
- 8月29日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会～川端康成「山の音」、チェーホフ「かもめ」に挑戦、講師:工藤正廣)
- 9月2日(水) 文学館カレッジ(谷崎潤一郎・愛のかたちを読む、講師:中澤千磨夫)
- 9月2日(水) 文学館出前講座(函館市、講師:クレヨンカンパニー)
- 9月3日(木) 文学館カレッジ(源氏物語への道しるべ—第一部の世界、本宮洋幸)
- 9月5日(土) わくわくこどもランド(人形劇など)
- 9月5日(土) 公演「吉田峯男出前コンサート」
- 9月7日(月) 文学館出前講座(壮瞥町、講師:村井裕子、あらひろこ)
- 9月10日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 9月11日(金) 文学館カレッジ(秘蔵資料でたどる北海道の文学、講師:平原一良)
- 9月11日(金) 文学館出前講座(津別町、講師:源 鬼彦)
- 9月12日(土) 文学館出前講座(札幌市、講師:ジンベクラブ)
- 9月17日(木) 文学館カレッジ(絵本学入門～初めて学ぶ絵本学の世界、講師:柴村紀代、杉浦篤子、藤田春義)
- 9月17日(木) 文学館出前講座(中富良野町、講師:前川公美夫)
- 9月19日(土) 特別展「没後50年 文豪・谷崎潤一郎—愛と美を求めて」オープン(～11月15日)
- 9月19日(土) 朗読会「谷崎潤一郎を読む—『細雪』抄」(出演:松井信子)
- 9月19日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会～川端康成「山の音」、チェーホフ「かもめ」に挑戦、講師:工藤正廣)
- 9月23日(水) 文学館まつり(常設展の無料開放、一日限りの資料公開、こども広場、秋のミニ色紙づくり、特別講演会「川端康成と戦後日本」)
- 9月26日(土) 文学館カレッジ(愉快に川柳教室Ⅳ、講師:岡崎 守)
- 9月27日(日) 映画上映会「細雪」
- 9月27日(日) 公演「古楽への誘い」
- 10月1日(木) 文学館カレッジ(源氏物語への道しるべ—第一部の世界、本宮洋幸)
- 10月3日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせなど)
- 10月3日(土) 文学館出前講座(清水町、講師:村井裕子、あらひろこ)
- 10月7日(水) 文学館カレッジ(谷崎潤一郎・愛のかたちを読む、講師:中澤千磨夫)
- 10月8日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 10月9日(金) 文学館カレッジ(秘蔵資料でたどる北海道の文学、講師:浅川 泰)
- 10月10日(土) 文芸トーク「谷崎潤一郎の文学を語る」(講師:辻原 登、池澤夏樹)
- 10月17日(土) 文学館カレッジ(韓国の現代文学案内、講師:梶谷 崇)
- 10月17日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会～川端康成「山の音」、チェーホフ「かもめ」に挑戦、講師:工藤正廣)
- 10月22日(木) 文学館カレッジ(絵本学入門～初めて学ぶ絵本学の世界、講師:杉浦篤子)
- 10月22日(木) 公演「若狭弘樹ギターコンサート」
- 10月23日(金) 公演「ロメウス弦楽四重奏団第1回演奏会」
- 10月24日(土) 文学館カレッジ(愉快に川柳教室Ⅳ、講師:岡崎 守)
- 10月26日(月) ミニ巡回展「本という芸術」(～1月31日、余市町)
- 10月31日(土) 文字活字文化の日関連講演会(「谷崎源氏を描いた画家たち—近代日本画と絵巻の伝統」、講師:奥岡茂雄)
- 10月31日(土) 文学館出前講座(中川町、講師:村井裕子、あらひろこ)
- 10月31日(土) 文学館出前講座(蘭越町、講師:松井信子)
- 10月31日(土) 文学館出前講座(苫前町、講師:岸田典大)
- 11月3日(火) ロビーコンサート(バレエとギターデュオコンサート、出演:近藤文子、佐藤洋一)
- 11月3日(火) 文学館出前講座(登別市、講師:石本裕之)
- 11月4日(水) 文学館カレッジ(谷崎潤一郎・愛のかたちを読む、講師:中澤千磨夫)
- 11月5日(木) 文学館カレッジ(源氏物語への道しるべ—第一部の世界、本宮洋幸)
- 11月5日(木) ロビーコンサート(クラシック音楽の夕べ、出演:八木歌織)
- 11月6日(金) 古典の日記念朗読会(出演:ドラマチックリーディンググループ蔵)
- 11月7日(土) わくわくこどもランド(秋のスペシャル「人形劇」)
- 11月8日(日) 映画上映会「鍵」

- 11月12日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
 11月13日 (金) 文学館カレッジ (秘蔵資料でたどる北海道の文学、講師：浅川 泰)
 11月13日 (金) 文学館出前講座 (滝川市、講師：中澤千磨夫)
 11月14日 (土) 公演「アマデウス室内合奏団演奏会」
 11月19日 (木) 文学館出前講座 (釧路市、講師：ガウチョス)
 11月20日 (金) 臨時理事会 (財団)
 11月21日 (土) 文学館カレッジ (韓国の現代文学案内、講師：梶谷 崇)
 11月21日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会～川端康成「山の音」、チェーホフ「かもめ」に挑戦、講師：工藤正廣)
 11月22日 (日) 公演「クラシックギターコンサート」
 11月23日 (月) 特別講演会 (「小説家の今、小説の未来」、講師：外岡秀俊、久間十義、澤田展人)
 11月23日 (月) 公演「クラシックギターコンサート」
 11月26日 (木) 文学館カレッジ (絵本学入門～初めて学ぶ絵本学の世界、講師：杉浦篤子)
 11月28日 (土) ファミリー文学館「ネコノねこノ猫!!」オープン (～1月17日)
 11月28日 (土) 小・中・高生短歌コンテスト表彰式
 11月28日 (土) 文学館カレッジ (愉快地に川柳教室Ⅳ、講師：岡崎 守)
 11月29日 (日) “猫”川柳句会 (講師：岡崎 守)
 12月2日 (水) 朗読会「猫と親しむ」
 12月3日 (木) 文学館カレッジ (源氏物語への道しるべ——第一部の世界、本宮洋幸)
 12月5日 (土) 読み聞かせランド「ネコとあそぼう！」
 12月10日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
 12月11日 (金) 文学館カレッジ (秘蔵資料でたどる北海道の文学、講師：平原一良)
 12月13日 (日) わくわくこどもランド (手作り教室「ツリーをつくろう！」)
 12月16日 (水) 朗読会「猫と親しむ」
 12月19日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会～川端康成「山の音」、チェーホフ「かもめ」に挑戦、講師：工藤正廣)
 12月23日 (水) わくわくこどもランド (クリスマススペシャル「ペープシアター・ボードビル」)
 12月26日 (土) 文学館カレッジ (愉快地に川柳教室Ⅳ、講師：岡崎 守)
 平成28年
 1月7日 (木) 文学館カレッジ (源氏物語への道しるべ——第一部の世界、本宮洋幸)
 1月8日 (金) 文学館カレッジ (秘蔵資料でたどる北海道の文学、講師：平原一良)
 1月10日 (日) わくわくこどもランド (手作り教室「カルタをつくろう！」)
 1月13日 (水) 朗読会「猫と親しむ」
 1月15日 (金) 大人のためのワークショップ (「猫・豆本を作ろう！」、講師：関川敦子)
 1月16日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会～川端康成「山の音」、チェーホフ「かもめ」に挑戦、講師：工藤正廣)
 1月23日 (土) 文学館カレッジ (愉快地に川柳教室Ⅳ、講師：岡崎 守)
 1月28日 (木) 文学館カレッジ (絵本学入門～初めて学ぶ絵本学の世界、講師：杉浦篤子)
 1月29日 (金) 池澤夏樹連続講演会 (第7回)
 1月30日 (土) 特別展「「さとぼろ」発見 大正 昭和・札幌 芸術雑誌にかけた夢」オープン (3月27日)
 1月31日 (日) ギャラリーツアー (「さとぼろ」発見を楽しむ)
 2月3日 (水) 文学館出前講座 (美唄市、講師：岸田典大)
 2月4日 (木) 文学館カレッジ (源氏物語への道しるべ——第一部の世界、本宮洋幸)
 2月6日 (土) わくわくこどもランド (絵本の読み聞かせなど)
 2月11日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
 2月12日 (金) 文学館カレッジ (秘蔵資料でたどる北海道の文学、講師：谷口孝男)
 2月14日 (日) ギャラリーツアー (「さとぼろ」発見を楽しむ)
 2月14日 (日) ワークショップ「リノカットでつくる私の蔵書票」、講師：関川敦子
 2月20日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会～川端康成「山の音」、チェーホフ「かもめ」に挑戦、講師：工藤正廣)
 2月24日 (水) 第2回理事会 (財団)
 2月25日 (木) 文学館カレッジ (絵本学入門～初めて学ぶ絵本学の世界、講師：杉浦篤子)
 2月26日 (金) 池澤夏樹連続講演会 (第8回)
 2月27日 (土) 文学館カレッジ (愉快地に川柳教室Ⅳ、講師：岡崎 守)
 2月28日 (日) 朗読と音楽のつどい「「さとぼろ」を懐かしい響きとともに」、出演：ロケット姉妹
 3月3日 (木) 朗読会「朗読で味わう「さとぼろ」と旧き札幌」
 3月5日 (土) わくわくこどもランド (春のスペシャル「腹話術など」)
 3月10日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
 3月11日 (金) 文学館カレッジ (秘蔵資料でたどる北海道の文学、講師：谷口孝男)
 3月12日 (土) 文学館出前講座 (北見市、講師：内田 弘)
 3月13日 (日) ギャラリーツアー (「さとぼろ」発見を楽しむ)
 3月13日 (日) ワークショップ「ポップアップ工作——電車のある札幌風景」、講師：松本 浦
 3月17日 (木) 朗読会「朗読で味わう「さとぼろ」と旧き札幌」
 3月17日 (木) 文学館カレッジ (源氏物語への道しるべ——第一部の世界、本宮洋幸)
 3月23日 (水) 第2回評議員会
 3月24日 (木) 文学館カレッジ (絵本学入門～初めて学ぶ絵本学の世界、講師：杉浦篤子)
 3月25日 (金) 池澤夏樹連続講演会 (第9回)
 3月27日 (日) ギャラリーツアー (「さとぼろ」発見を楽しむ)

III 公益財団法人北海道文学館役員名簿

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

顧問	池澤 夏樹 李 恢成	加藤 幸子	木原 直彦	小檜山 博	神谷 忠孝	荒巻 義雄 <7名>
参与	朝倉 賢 高島 二郎 村田 俊秋 出村 文理	加藤 多一 藤堂志津子 八子 政信	木村真佐幸 永井 浩 吉田 秋陽	小杉 捷七 原子 修 米坂ヒデノリ	佐々木 譲 比良 信治 辻脇 系一	鈴木 光彦 村井 宏 谷 暎子 <19名>

役職員

理事長 1	工藤 正廣	監事 1	中村 孝一	評 1	阿知良光治
副理事長 2	内田 弘	// 2	野坂 幸弘	// 2	飯塚 優子
// 3	平原 一良			// 3	石本 裕之
// 4	酒向 憲司			// 4	植松美由紀
専務理事 5	谷口 孝男			// 5	岸 美千代
常務理事 6	武田 和弘			// 6	熊谷ユリヤ
理事 7	岡崎 守			// 7	佐藤 将寛
// 8	片山 晴夫			// 8	柴橋 伴夫
// 9	國松明日香			// 9	高橋 秀明
// 10	斉藤 征義			// 10	田口 耕平
// 11	柴村 紀代			// 11	田中 綾
// 12	瀬戸 正昭			// 12	中館 寛隆
// 13	立花 峰夫			// 13	中村 三春
// 14	本田 優子			// 14	橋本 征子
// 15	前川公美夫			// 15	平野 温美
// 16	源 鬼彦			// 16	松嶋 東洋
// 17	森 一生			// 17	山崎真紀子
// 18	安高 誠吾			// 18	若宮 明彦
// 19	和田 由美			// 19	五十嵐秀彦
// 20	中澤千磨夫			// 20	田湯 岬
// 21	澤田 展人			// 21	日浅 尚子
// 22				// 22	三浦 幸司

収集資料選定委員会

副理事長	平原 一良
参与	辻脇 系一
参与	出村 文理
参与	谷 暎子
評議員	中館 寛隆

規約・規程検討委員会

副理事長	内田 弘
副理事長	酒向 憲司
理事	前川 公美夫
理事	安高 誠吾
常務理事	武田 和弘

平成27年度年報（平成29年2月発行）
HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE
北海道立文学館
〈指定管理者〉公益財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号
TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266